

# 技術で社会に貢献する

OILES Corporation Recruiting Guide

→ オイレス工業の若手社員たちに、入社動機と今の目標について聞きました。

## 入社動機編

### トライボロジーを とことん探求したい

大学の研究室では、トライボロジーの研究をしていました。トライボロジーの奥深さを知り、さらに探求したいと考えていました。当社の長い歴史や多くの特許保有数はとても魅力的で、トライボロジーに関する研究開発にしっかりと関われると確信しました。

## Ryunosuke Kurata

研究開発部 第一研究室

### モノづくりで人々の 生活を豊かにしたい

当社のインターンシップに参加し、軸受が多くの製品を支える重要な部品であることを知り、この業界で働きたいと考えました。当社のオイレスベアリングは、自動化やIoTといった先端技術との親和性も高く、これからの時代を切り開く製品として魅力を感じました。

## Ryosuke Kawai

自動車軸受事業部 営業部 東京営業所

### 幅広く社会に貢献できる 可能性がある

自動車に興味があったことから、当社を知ったのがきっかけでした。オイレス工業の製品は、自動車だけでなくインフラや生活の身近な物に採用されていることを知り、幅広く社会に貢献できる可能性を強く感じました。

## Kentaro Igarashi

自動車軸受事業部  
技術部 技術一課

### 自分の力で 挑戦できる環境

インターンシップで行った自動車振動解析では、全体を通して私の考えを主体に業務を進めることができました。その結果が、自動車設計に反映される可能性があることを知り、自分の力を存分に発揮して挑戦することができる環境に魅力を感じました。

## Kaho Watanabe

生産事業部 藤沢工場 工機課

## Arisa Nakamura

一般軸受事業部 営業部 東京営業所

### 新しいアイデアを 形にしたい!

お客様のニーズを的確に捉え、新たな市場や製品の可能性を見つけ出していきたいと考えています。営業職ならではの強みである、幅広い業界の方々と直接お話できる機会を活かし、多様な視点を取り入れながら柔軟に対応し、新しいアイデアを提案していきたいです。

### 人々の生活を 地震から守りたい!

多くの建物で採用されるような製品を作り、人々の生活を守りたいです。地震はいつ起こるか予測が難しい災害であるため、不安のなか生活することになります。免制震装置を通して、そのような不安を少しでも取り除くための手助けをしていきたいと考えています。

## Yushi Iwashita

免制震事業部 技術部 技術課

### 事業を推進する キーパーソンになりたい!

技術部の業務は営業や工場との連携が不可欠。私のコーチャーをしてくださった先輩は、部署の垣根を越えて業務を円滑に進めるキーパーソンのような存在でした。私自身も、技術力の向上はもちろん、人間関係の構築や他部署の方が持つ知識の積極的な吸収に励み、いつかは先輩のような会社のキーパーソンになりたいと思っています。

## 私の目標編

## Akari Miyajima

自動車軸受事業部 営業部 海外業務室

### 海外現地法人との 結びつきを より強固にしたい!

私が所属している海外業務室は、海外現地法人や代理店と日本の関係部門の窓口となる部署です。海外売上高の向上には、国内と海外現地法人の繋がりを強くすることが大切だと考えています。相手国の文化や歴史なども学んだ上でコミュニケーションを取り、海外現地法人とのチームワークを高めていくことが私の目標です。

## Mami Miyoshi

一般軸受事業部 技術部 技術一課



## Top Message

代表取締役社長 坂入 良和

### ▾ 私たちオイレス工業の強み

トップシェアをつくりだす、オンリーワン技術と顧客対応力。

オイレス工業は、1932年、日本で初めて無給油木質軸受を開発したことから始まります。以来、オイルレスベアリングの最大手メーカーとして成長してきました。

オイレス工業は、独自の技術が強みとする会社です。当社にはトライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑）、ダンピング（振動制御）という二つのコア技術があります。これらの技術を研鑽することで、市場でのトップシェアをつくりだしてきました。

もう一つの当社の強みは、顧客対応力です。当社ではテクニカルダイレクトセールスと呼んでいますが、営業と技術が一体となってお客様に向き合い、お客様の課題を解決していくというスタイルです。さらに付け加えれば、高度な性能評価システムがあります。お客様に代わって製品評価を行う、当社独自の技術サービスです。こうしたオイレス工業ならではの特徴が製品への支持とお客様からの信頼を得る要因になっています。

### ▾ オイレス工業の現在地

摩擦・摩耗・振動の技術+Xで、サステナブルな社会の実現へ。

オイレスグループでは二つのコア技術を活用し、三つの事業を展開しています。一つは軸受機器事業、二つ目が免制震装置を中心とした構造機器事業、三つ目がウィンドウオペレーターなどの建築機器事業です。

軸受事業は、成長市場であるEV車、半導体製造装置、再生エネルギー関連、構造事業は、都市再開発やインフラリニューアル市場、建築事業はリフォーム市場に注力していきます。

現在当社では、長期ビジョンとして、「サステナブルな社会の実現を、摩擦・摩耗・振動の技術+Xで貢献する」と掲げています。例えば、当社のオイルレスベアリングは、無給油または給油の量や回数を少なくできるため、環境にやさしい製品になっています。コア技術+新技術・新事業の創出により、サステナブルな社会の実現に貢献していきたいと考えています。

### ▾ 私たちが求める人財

グローバルな舞台で活躍できるチャレンジ精神を。

1976年に初めての海外現地法人をアメリカに、約30年前に中国、ドイツに進出し、現在、北米、欧州、アジアと合わせて7拠点を展開しています。これまでは日系企業への現地供給という役割が主でしたが、現在は現地メーカーへも積極的に拡販活動をしています。さらに半導体市場や再生可能エネルギー市場への取り組みも強化しています。今、当社ではグローバルで活躍できる人財を求めています。グローバルな舞台でも臆することなく、海外の多様な文化を尊重しながら、新たな市場を切り拓いてほしいと思います。

もう一つが、+Xに貢献する人財です。当社の摩擦・摩耗・振動の技術に加え、新たな技術・新たな事業を生み出していくチャレンジ精神を求めます。これまでの常識にとらわれず、柔軟な発想で物事をとらえることが大切だと考えています。そして全従業員が、社会の課題解決のために、自ら貢献をしていきたいという高い志を持つことを期待しています。

### ▾ 学生の皆様に期待すること

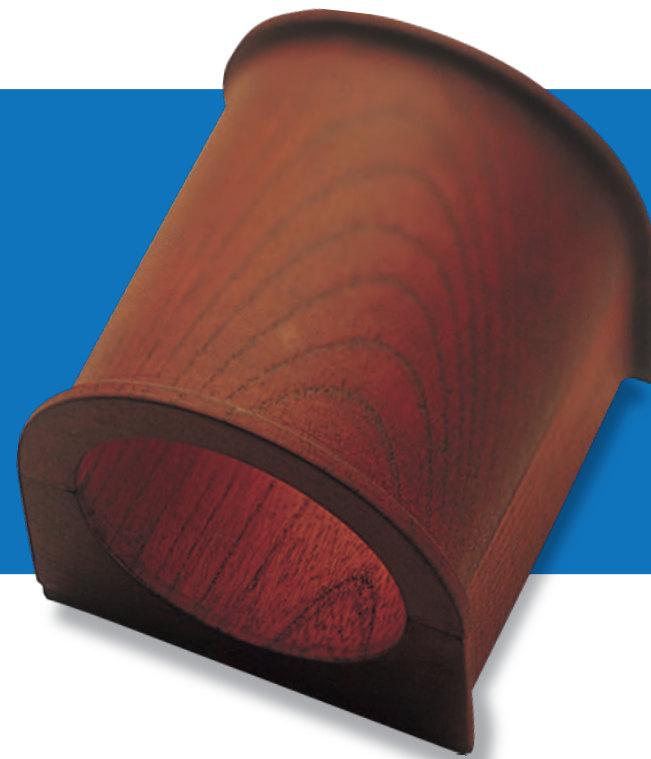
積極的な姿勢に応えてくれる確かな成長環境と人財育成。

オイレス工業は積極的な姿勢があれば、「やりたいことがいくらでもできる」会社です。若いうちから責任ある仕事を任せられ、確かな成長を遂げることができます。例えば、当社の技術者は設計から製品化まで一貫して携わります。自分で設計した製品をお客様に提案し、製品化していく。ものづくりへの確かな実感と達成感が得られます。また、海外で活躍できるチャンスも広がっています。私自身、工場での生産技術や開発を経験後、ドイツ法人に駐在し、軸受機器の技術営業に従事しました。その後、インド法人の社長に就任し、海外現地法人のマネジメントも経験。海外で自分の力を発揮できたことは、私のキャリアにおいて一つの大きな節目になっています。オイレス工業は、積極的に手を挙げて自分の仕事に取り組めば、一歩前に出る姿勢が評価され、それに応えてくれる会社です。人財育成のための様々な制度も整備されています。皆さんの活躍を期待しています。

オイルレスベアリングと  
免震・制震装置の  
総合メーカーとして  
世界のリーダーとなり、  
技術で社会に貢献する人財を。

Yoshikazu  
Sakairi

# すべては小さな 木質軸受から はじまった



オイレス工業は、オイルレスベアリングのトップカンパニーであり、免震・制震技術においても他の追随を許さない技術を誇る会社です。

今や、私たちの製品は世界のあらゆる場所で使用されています。

1932年、オイレス工業はこのひとつの木質軸受の開発をきっかけに、材質にとらわれることなく、「樹脂」「金属」そして両者の利点を合わせた「複層」「エアベアリング（摩擦＝ゼロ）」を開発。また、軸受で培った技術を応用し、免震・制震の分野を切り開きました。

私たちは、時代のニーズを先取りし、トライボロジー（摩擦・摩耗・潤滑）とダンピング（振動制御）をさらに追及することで、絶えず新しい価値を生み出し、無限に存在する社会課題に立ち向かっていきます。

## オイルレスベアリング

オイルレスベアリングは、機械の要素部品“ベアリング（軸受）”のなかでも、潤滑性があり、無給油もしくは給油回数を減らして使用できるすべり軸受として、あらゆる分野で活躍しています。

オイレス工業は、軸受そのものに潤滑成分を含ませる技術を独自開発し、国内で初めてオイルレスベアリングの製品化に成功しました。潤滑性をもたせたオイルレスベアリングは、低摩擦・耐摩耗性・耐焼付き性など、一般のすべり軸受では得られない高性能を発揮し、機器の高性能化とメンテナンスフリーを実現します。また、転がり軸受が使用できない過酷な環境でも高い耐久性を発揮します。

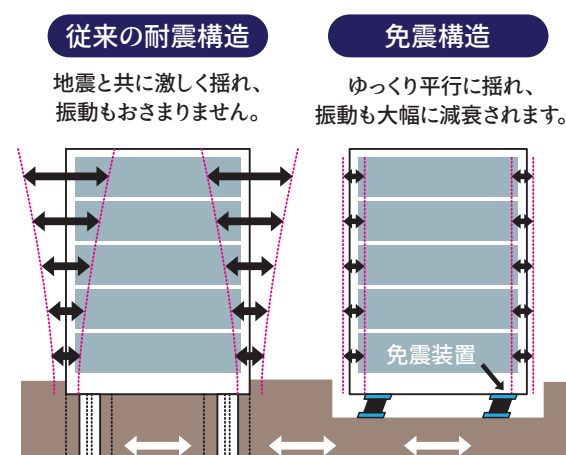
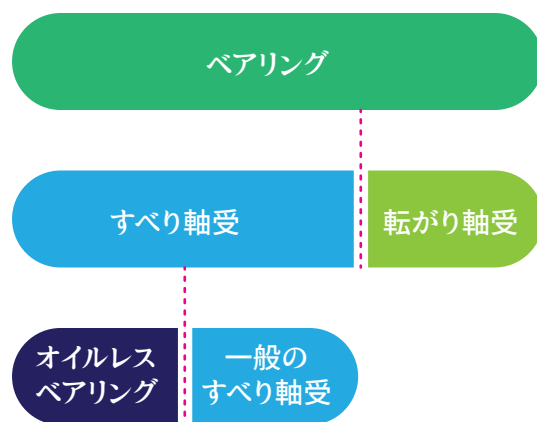
自動車、鉄道、家電製品などの身近なものから発電所、海峡大橋などの社会インフラ向け、内径2ミリの製品から1メートルを超える大型製品まで、用途に合わせた製品を提供しています。

## 免震・制震装置

免震とは、建物と地面の間に免震装置を入れることで、地震発生時の揺れ（振動エネルギー）を直接建物に伝えないようにする地震対策です。地震発生時に建物を守るだけでなく、中にいる人や財産も守ることができます。

制震は、建物が受けた地震や風などの揺れ（振動エネルギー）を吸収し、揺れを小さく抑えるものです。超高層ビルなどへの地震対策として多く採用されています。

現在、免震・制震の技術は、大規模災害から都市機能を守る最も効果的な地震対策として評価されており、高層ビル、病院、庁舎、歴史的建造物などでオイレスの免震・制震装置が採用されています。代表的な製品であるLRB（鉛プラグ入り天然積層ゴム型免震装置）をはじめ、制震壁、BM-S（橋梁用ビンガムダンパー）など、多様な製品を開発してきました。



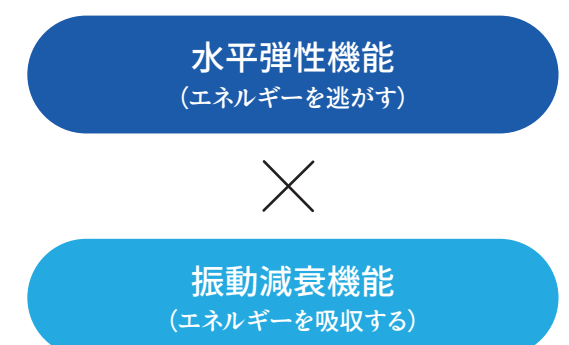
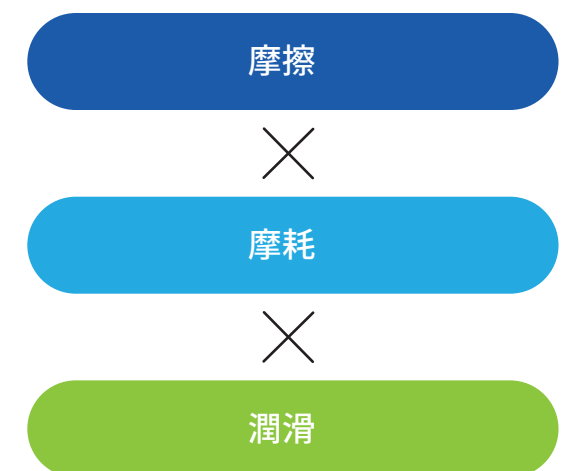
## トライボロジー

「摩擦、摩耗、潤滑」をはじめ、関係する材料や設計などを含めた「相対運動しながら互いに影響を及ぼしあう二つの表面の間に起こるすべての現象を対象とする科学と技術」のことを言います。ギリシャ語の「摩擦する」を意味する“tribos”と「学問」を意味する“ology”を語源としており、これらをつなぎ合わせた造語です。

軸と軸受が接触している以上、軸が動く摩擦が生じ、摩耗は必ず起こります。身の回りのものもそうですが、軸も軸受も表面が平らでなく、接触している面と接触していない面があり、この“ごく小さい”接触している面同士が接触することで摩耗は起きます。一般的に摩擦・摩耗と聞くと“小さく”することを捉えがちですが、実は“適正な”摩擦・摩耗を得るための様々なアプローチ、それが当社のトライボロジー技術になります。具体的には、自己潤滑性を持たせたり、最適な潤滑剤を供給したり、あるいは最適なフィーリングを創出するために摩擦抵抗を活用するなど様々な視点や発想が実績として蓄積されており、当社のトライボロジー技術の源泉となっています。

## ダンピング

「振動物体の運動を妨げるような抵抗力によって振動のエネルギーが消散するあるいは振動振幅が減少すること」を言い、身近なものとしてはダンパーがあります。例えば、ドアを閉める際にドアクローザーが付いていると、ゆっくりと減速して閉まりますが、これは中にあるダンパーが減速装置となることでゆっくりと閉められるようになっています。このように外部からの力に抵抗する力を発揮してそこで生じたエネルギーを吸収し、制御することを目指し、当社の免震・制震装置につながるダンピング技術となっています。様々な素材や機能を活用し、地震の揺れを“免れること”や“制御すること”を実現し、地震エネルギーをコントロールする免震・制震装置を提供しています。



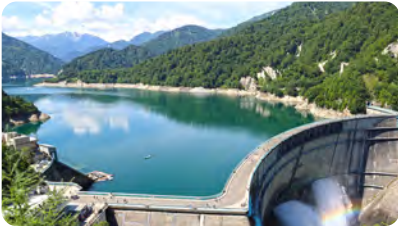
# 広がり続ける フィールド

軸受製品



### 01 | 自動車

ステアリング、サスペンション、ボデー、エキゾースト等、幅広く製品が使用されており、車1台あたり多いもので100個以上の軸受が使われています。当社製品は、国内全てのカーメーカーで導入されていることはもちろん、世界においてもシェアNo.1を誇る製品があります。



### 02 | 発電所

水中で高い耐食性が求められる水力発電の水車部分や入口弁、風の状態に合わせて角度を変えて発電効率を向上させる風力発電機のブレード部分、ごみ処理施設の焼却炉で使用されているストーカ炉でごみをむらなく燃焼させるための可変部など、発電の効率化に貢献しています。



### 03 | 複合機

ローラーユニット軸の両端に使われていることが多く、静電気による紙詰まりを避けるため、導電性のある製品が導入されています。当社のオイルレスベアリングは、基本的に交換は不要であり、メンテナンスコストの低減につながります。

免制震装置



### 01 | 病院

地震の建物被害を最小限にできるため、患者さんや医療従事者はもちろん、医療機器も守ることができます。これにより、災害時は医療の継続が可能となり、安全な建物は災害復興拠点になることもあります。2016年の熊本地震では、当社免震装置を導入していた医療センターは被害を受けず、災害復興拠点として活躍しました。



### 02 | 庁舎

地方自治の重要な拠点となる庁舎。庁舎は、古い建物も多く、耐震性を向上させるために当社免震装置が活躍しています。神奈川県では、横浜にある県庁舎に、当社の免震装置が導入されています。



### 03 | 神社仏閣

建物にできるだけ手を加えないで耐震性を向上させる耐震補強（レトロフィット）。歴史的構造物や文化財など、その芸術性をオリジナルのまま保存したい場合などに活用されます。安産祈願で都内有数の神社である水天宮などに採用されており、歴史的価値の維持に貢献しています。

軸受製品 & 免制震装置



### 01 | 観覧車

大阪・万博記念公園内の複合施設、EXPOCITYのランドマークであるRedhorse OSAKA WHEELは、世界初の免震観覧車であり、オイルス工業の免震装置が活躍しています。また、中心軸を支える軸受にも当社の製品が使われています。観覧車は、ビルなどの建物とは形状や条件が全く異なりますが、試行錯誤を重ねたオイルス工業製品が採用されています。このように、条件に合わせて製品の細かな調整などを行い、様々な建造物の安全を支えています。



### 02 | 新幹線

オイルス工業の免震装置は、普段私たちが使う身近な橋はもちろん、新幹線の橋梁や高速道路など、大型の橋梁にも採用されています。また、新幹線車内のシートリンク等には、当社の軸受製品が使われており、高い安全性が求められる交通インフラで多くのオイルス製品が活躍しています。

# 世界で求められる オイルス



## 北米

アメリカ



OILES AMERICA CORPORATION

## ヨーロッパ

ドイツ



OILES DEUTSCHLAND GMBH

チェコ



OILES CZECH MANUFACTURING S.R.O.

## アジア

中国・上海



上海自潤軸承有限公司

中国・蘇州



自潤軸承(蘇州)有限公司

タイ



OILES (THAILAND)CO., LTD.

インド



OILES INDIA PRIVATE LIMITED



**Shunsuke Takekawa**  
武川 純亮 | 理工学専攻 2010年入社  
一般軸受事業部 技術部 技術一課 課長

## トライボロジー・エンジニアとして、 世界の産業を支えると共に、 省エネや環境負荷低減の 実現に貢献する。

私が所属する一般軸受事業部の技術部は、自動車以外のすべての産業分野の機械装置に搭載されるオイルレスベアリングの製品開発から、用途開発、製品設計、材料開発、営業や生産支援まで幅広い業務を担っている部署です。

その中で、私が課長を務める技術一課は、金属、樹脂、両者を組み合わせた材料など、幅広い材料からなるオイルレスベアリングを扱っております。小さいものでは電子機器から、大きいものでは水力発電装置や海洋構造物など軸受が搭載される装置まで、その大きさも様々です。

課内では業種ごとにチームが分かれ、担当製品の開発・設計から生産まで一貫して関わるのが、当社技術部の特徴であり、面白いです。

Career  
01



大学院では振動制御工学研究室に所属し、地震による機械や構造物の応答解析を研究。実験装置を作る際に当社の軸受を使用したのがきっかけになり、オイルレス工業に入社。

Career  
02



入社後、一般軸受事業部の技術部技術一課に配属。主に鉄道車両に搭載されるオイルレスベアリングの設計、材料開発などに従事。入社4年目からは水力発電装置や水門設備を担当する。

Career  
03



入社11年目にグループリーダーとして、水力発電装置から海洋構造物、食品機械、情報家電、油圧機器など幅広い業種を経験。現在、技術一課の課長を務める。

### 私のミッション

現在、課長としての私の仕事は、事業計画の推進及び課内のマネジメントが中心です。大切なミッションのひとつとして、課内メンバーのトライボロジストとしてのレベル向上があります。当社のオイルレスベアリングには、トライボロジーという技術が使われています。潤滑や摩擦、摩耗、焼き付けなどの現象を対象とする技術です。一言で言えば、「摩擦を科学する技術」です。トライボロジーの技術向上により、お客様が求めるどんな条件下でも、耐久性や性能安定性を維持できる軸受を、メンバーが一丸となって目指しています。メンバーの技術向上が私の最大の役割だと思っています。

### 仕事にかける思い

私は大学の研究室で、天井クレーンの地震応答解析を行っていました。地震時の天井クレーンの挙動を把握し、耐震設計に活かすための解析です。そんな経緯もあり、エネルギーやプラント分野の構造物に関心があったと同時に、エンジニアとして何らかの形で社会に貢献していきたいという想いもありました。オイルレスベアリングは省エネや環境負荷の軽減に寄与する製品です。私たちの技術向上が更なる社会貢献につながるという確信があります。非常に用途範囲の広い製品ですし、これまでにない新しい製品の創出にも取り組んでいきたいと思っています。

### Work Life Balance

現在、2児の父親として、休日は家族との時間を取るようにしています。最近、子どもたちが仮面ライダーに興味を持ちはじめ、我が家のブームになっています。家族全員で仮面ライダーシリーズを観ながら楽しんでいます。



**Ririe Yano**  
矢野 季々恵 | 制御技術科 2019年入社  
生産事業部 生産革新部 生産技術開発室

## ものづくりの技術者として、 生産設備の改善・改良により 品質向上や設備の 効率化を図る。

私が所属する生産技術開発室は、当社の各生産拠点において、製造工程の改善・改良、新技術を用いた設備・製品の開発を行う部署です。室員の業務は工場や製品によって各々異なります。現在、私は主に複層軸受製造の熱処理設備の効率化と、制震装置に使われる粘性体という高分子材料の攪拌設備の更新を担当しています。熱処理設備の効率化では、複層軸受を製造する際に必要となる焼結炉と呼ばれる設備の生産効率向上や省エネ化に取り組んでいます。また、制震装置については構造物の振動エネルギーを吸収するために、特殊な粘性体が使われており、私はその材料を扱う設備検討を工場関係者と連携しながら進めています。

Career  
01



短期大学でロボットやセンサーなどの制御技術を学ぶ。在学中にエコラン(省燃費競技)に参加したことがきっかけで自動車関連部品に興味を持ち、オイルレス工業に入社を決める。

Career  
02



生産事業部の生産革新部 生産技術開発室に配属され、1年目から4年目まで、滋賀工場向け複層軸受の生産設備を担当。主にコーティング技術の手法開発や画像検査技術の検討、熱処理設備の効率化などに携わる。

Career  
03



5年目からは、複層軸受機器用熱処理設備の効率化に加え、足利工場向けの構造機器用設備も担当し、制震装置に使われる粘性体を作るための製造設備の更新に携わっている。

### 私のミッション

私たち生産技術開発室の役割は、求められる品質で製品を生産可能な設備を、コストとのバランスも踏まえながら実現していくことだと考えています。それに加えて、作業者が作業しやすいことや、設備の効率化、ラインの自動化、生産データの可視化などの付加価値の伴う設備を検討する必要もあります。さらに省エネや環境負荷への軽減対策も求められています。ものづくりに関わる技術者として、幅広い知見やスキルを求められますが、そこが面白いところです。生産設備は製品の品質やコストに直結しますので、責任の重さと同時に大きなやりがいを感じています。

### 仕事にかける思い

短期大学に在学中、サークル活動の一環としてエコラン競技に参加したことがきっかけでものづくりに惹かれ、製造現場の技術者を目指しました。オイルレス工業では、様々な製造設備に関わることで、ものづくりの技術者としての幅が広がり、大きく成長できたと思っています。現在、担当している業務での目標は、少しでも製造現場の改善、改良に貢献することです。将来的な目標としては、課題発見力を高め、課題解決のためのより良いノウハウを提供できるようになることです。また、新たな製品の開発に携わることで、お客様の多様なニーズに応える製品づくりに挑戦したいと考えています。

### Work Life Balance

音楽グループMrs. GREEN APPLEの大ファンで、定期的にライブに出かけています。遠方でライブをやる場合にも、有給休暇や時間休暇を使って、うまく制度を活用しながらプライベートも充実させています。



# 日本を巨大地震から守るため、 新製品の開発を通して、 免震・制震装置の さらなる高度化へ。

免制震事業部は、建物や橋と地面の間に入れて地震対策をする「免震装置」と、高層ビルや橋の地震・風対策として設置する「制震装置」などの開発・設計・製造・販売を行っています。私の所属する技術部 開発課は主に製品開発と材料開発に取り組んでいます。製品開発の形態は大きく二つあり、当社独自で開発する場合と顧客や研究機関・大学と共同で開発する場合があります。材料開発は研究開発部と共同で実施する場合が多く、製品開発に先んじて取り組みます。いずれの場合も仕様の決定、設計、性能評価、製品化までを一貫して携わることができます。そのため、初めて試作品を動かす時のワクワクとドキドキや、課題に直面した時の悩み、製品化できた時の達成感など、ものづくりの醍醐味が詰まっています。

Career  
01



大学院では応用化学・生物化学を専攻し、人工核酸アプタマー（医薬品・検査薬）とその創出方法について研究する。機械系メーカーにも関わらず、材料を自社開発していることから化学系出身者でも活躍できると思い、入社を決める。

Career  
02



入社後、免制震事業部の技術部 開発課に配属され、1年目は製品の評価業務の補助に従事。2年目から積層ゴムやすべり支承、ダンパーなど様々な製品の評価業務を行う。3年目には主担当として新たなすべり支承を開発する。

Career  
03



4年目から約6年間、新製品開発及び規制強化対応業務（長周期地震動に対する評価方法の検討など）に携わる。10年目からは新製品開発と材料開発を担当する。

**Yuta Irisawa**  
入澤 祐太 | 応用化学・生物化学専攻 2013年入社  
免制震事業部 技術部 開発課

## 私のミッション

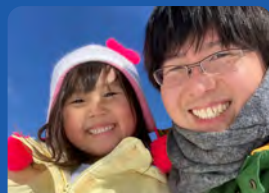
免震・制震装置には、すべり材やゴム材料、特殊な粘性材料など様々な材料が使用されています。そのため、材料開発に関する部分で化学系出身者が活躍できるのではないかと思います。入社後は、すぐに材料に関する業務に従事するのではなく、開発業務の中で強度設計や作図、多くの性能評価業務を行い、どのように材料が使われるのか、どのような特性が求められているのかを学びました。そして、現在は新製品開発とそれに伴う材料開発を担当しています。大学で学んだ化学のバックグラウンドと入社後の経験があるからこそ、材料開発と新製品開発を一通貫で行うことができます。そのため、材料の可能性を探求し、高性能な製品を生み出すことが私の使命です。

## 仕事にかける思い

幼い頃にテレビで阪神・淡路大震災を見て以来、地震対策に関心を持つようになりました。2011年には東日本大震災を経験。今、首都直下型地震や南海トラフ地震の到来も危惧されています。南海トラフ地震のような巨大地震は、長くゆっくり継続する長周期地震動が生じます。そうした巨大地震に対応していくためには、より高度な製品の開発と様々な施設へ普及させることが課題となります。免震装置と制震装置の両方を取り扱う数少ない企業の一員として、これらの課題を解決することで、災害に対するレジリエンス（被害の防止・軽減、被災後の復旧力）を提供し、皆さんの明日を守りたいと思っています。

## Work Life Balance

プライベートでは、子供の成長を見るのが楽しんでいます。子供には、「すべては実験だよ、失敗してもいいからやってみよう」と伝えて遊んでいます。昨シーズンはスキーにトライし、何度も転びながらも、最後にはリフトで上まで登り、一度も転ぶことなく滑れるようになりました。



# 文系出身者ならではの 発想と気づきで、 新たな市場の 開拓を目指す。

一般軸受事業部の営業担当として、自動車以外の多岐にわたる業界を対象に営業活動を行っています。当社の軸受製品は、発電所をはじめとする大型設備から、コピー機など日常的に使用される製品に至るまで幅広い用途に対応しています。営業形態は、代理店を介した間接販売と、エンドユーザーへの直接販売の2つに大別されます。私は建設機械や射出成型機を手掛ける機械メーカーを中心に、代理店を含めて約10社のお客様を担当しています。業務内容としては、既存顧客への技術提案やアフターフォローを中心に、新市場および新規顧客の開拓、さらに新製品開発に向けた情報収集など、多岐にわたる役割を担っています。

Career  
01



大学では社会心理学を学ぶ。メーカーの営業職を志望する中で、会社選びのポイントでは働きやすさや働き方を重視。技術に基づいた信頼性の高い製品を扱うオйлレス工業に魅力を感じ、入社を決める。

Career  
02



入社後、工場実習を通じてものづくりのプロセスを学ぶ。その後、一般軸受事業部の営業部 東京営業所に配属され、先輩に同行しながら、顧客対応や営業スキル、製品知識などを学ぶ。

Career  
03



入社1年目の秋頃からエンドユーザーおよび代理店を担当し、大型案件にも関与。現在は、建設機械や成型機を手掛ける大手機械メーカーを中心に営業活動を行っている。

**Fuko Kumagai**  
熊谷 楓子 | 心理学専攻 2022年入社  
一般軸受事業部 営業部 東京営業所

## 私のミッション

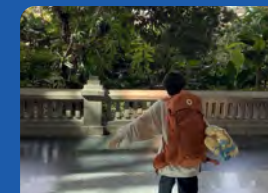
当社ではカタログ製品の販売にとどまらず、顧客のニーズに応じた特注仕様品の提供にも注力しています。既存顧客においても、ランニングチェンジや新製品開発に伴い、軸受製品に求められる仕様は常に変化しています。こうした変化を迅速かつ的確に把握し、長期的に安心してご利用いただける製品を提供するため、顧客との信頼関係の構築を最優先事項としています。さらに、新市場の開拓やこれまでにない画期的な提案を実現するため、技術部や生産現場など社内関連部門と密接に連携し、プロジェクトをリードする役割も担っています。これにより、当社製品のさらなる価値向上を図るとともに、新たなビジネスチャンスの創出に貢献することが私の使命です。

## 仕事にかける思い

入社当初は文系出身という背景から、「すべり」に関する専門的な問い合わせへの対応に苦戦する場面もありました。しかし、技術知識や採用事例を学ぶ中で、軸受製品の重要性和奥深さを理解し、興味が深まるとともに、多分野で活用される当社製品に誇りを感じています。これまでの3年間は既存市場における活動を主軸としてきましたが、今後は新市場の開拓にも重点を置きたいと考えています。軸受製品の市場には潜在的なニーズが数多く眠っているとされており、独自の視点や発想を活かして新たなビジネス領域を切り開くことで、さらなる成長を目指していきます。

## Work Life Balance

アウトドアな性格なので、休日は期間限定のイベントや話題の飲食店を目的に出かけることが多いです。また、長期休暇の際はシンガポールやパリなど、アジア圏を中心に海外旅行をしています。当社は家賃補助などの福利厚生が充実しており、趣味やプライベートを楽しむ余裕が持てる点も大きな魅力です。





### 麻布台ヒルズ

2023年11月に完成した、オフィス、住宅、ホテル、インターナショナルスクール、商業施設、文化施設など、多様な都市機能を高度に融合したコンパクトシティ

## Project Story

# 麻布台ヒルズ制震化プロジェクト

「逃げ込める街」をコンセプトに、2023年11月に開業を果たした複合施設・麻布台ヒルズ。徹底した地震対策を施した麻布台ヒルズは、東日本大震災や阪神淡路大震災レベルの地震の揺れにも耐えられると言われている。その地震対策の一翼を担ったのが、オイレス工業の制震技術だ。麻布台ヒルズには制震壁が552基使われている。ここでは、麻布台ヒルズ制震化プロジェクトに携わった2人の若き社員の姿を紹介する。

プロジェクトがスタート。

熱き戦いの日々が始まる。

建築営業部の担当者に「ある大型案件でオイレス工業の制震装置を使いたい。」という一報が入ったのが2017年のことである。建築営業部ではさっそく技術部設計課に協力を仰ぎ、提案内容の作成を開始、6年余りにわたる麻布台ヒルズのプロジェクトがスタートする。麻布台ヒルズは森JPタワーを中心に、レジデンスA/B、ガーデンプラザA/B/C/Dから構成される大規模な複合施設である。

オイレス工業への打診があったのは、オイレス工業の制震装置への信頼と実績があったからである。とはいえ、これで受注が決まったわけではない。設計コンセプトの策定や基本設計、その後の実施設計を経て最終的な採用製品が決定する。制震壁の設計を担当した一人が、当時入社5年目の市村佳大である。

「担当を任された時は、これほど大きな案件の経験はなかったので、正直不安でした。一方で、ぜひとも当社製品を採用いただきたいという強い思いが沸々湧いてきました。」

営業担当には、当時、入社4年目の鬼平勇輔があたることになる。「私自身も、これほどの大型案件は初めての担当でしたので、何が何でも成功させたいと強く思いました。」

## コンセプト「逃げ込める街」に合致したオイレスの制震壁。

レジデンスAの担当を任された市村は、制震装置の設計を開始。「当社の制震装置・制震壁は、粘性体の粘性せん断抵抗力により、風などの小さい揺れから大地震の激しい揺れまで幅広い振動に対して効果を得られます。今回の麻布台ヒルズには「逃げ込める街」というコンセプトがあり、そのコンセプトに当社の製品が合致したことが当社指名につながったのだと思います。」と市村。

その間、鬼平はオイレスの技術力をプレゼンするために、制震壁の公開試験を実施した。

「当社の製造現場や評価検証体制を直接見てもらうことが、信頼の獲得にもつながります。」

その後、市村が提案した設計を設計事務所において解析・検証し、細部の調整や見直しを行うというやりとりが何度も繰り返された。

「要求される高い性能や要件を満たす製品設計をする難しさややりがいがありました。」

## 受注の喜びも束の間、さらなる試練が続く。

設計事務所とのやりとりを終え、2020年、ようやく鬼平へ受注の一報が届く。オイレス工業では、市村が担当するレジデンスAと、日本一高い高層ビル・森JPタワー2棟の受注を獲得する。

「安全に関わることで、解析や検証にどうしても時間がかかります。受注の一報を受けた時は、安堵で胸を撫で下ろしました。」と市村。

一方の鬼平は「受注には、性能や品質、仕様など技術的な面はもちろんですが、納期のスピードやコストなど、様々な要素が絡んできますので苦労しました。私にとってこんな大型案件の受注は初めてのことでしたので、とても興奮したことを覚えています。」

しかし、これで終わったわけではない。

「受注後、建物の構造図面から当社製品に関する記載内容を確認し、詳細検討が始まります。」と市村。

建物の規模が大きく、製品の採用基数も多いため、製品の仕様や納まりの確認、製品図面や製作検査に関する書類作成には細心の注意を払い、プロジェクトを進めていく必要がある。

## 納品スケジュールの壁を乗り越えて、最終ゴールへ。

製品の仕様や建物の設置箇所に応じた製品の納まり確認、施工方法について設計者および施工者と協議を重ね、詳細を詰めていった。一方で鬼平も、「詳細を詰める中で、予算の調整が必要になるケースもありますので、その合意に向けた交渉をしなければなりません。受注後も、営業にとってはその力を試されるかもしれませんね。」と述懐する。

詳細設計の終了後、鬼平は納品に向けて製造現場とのスケジュール調整に入っていた。

「これだけの大規模プロジェクトです。製品の基数也非常に多く、生産現場工程のスケジュールに乗せるため、工場の関係各所と何度も協議を重ねました。私にとっては最も苦労した最後の壁でした。」と鬼平。

2022年11月、納品が完了。翌2023年11月には竣工し、6年余りのプロジェクトが完了した。

鬼平からの納品完了の電話に、市村も「お疲れ様!」と応え、お互いこれまでの苦労を労った。

今回の麻布台ヒルズ制震化プロジェクトは、2人にとって大きな成長を遂げる契機となる経験だった。

「逃げ出す街」から  
「逃げ込める街」へ。  
地震対策の一翼を担う  
オイレスの制震技術。



### Profile



#### 市村 佳大

工学研究科 機械工学専攻  
2013年入社  
免制震事業部 技術部 設計課

大学院では機械工学を専攻し、金属材料の熱エネルギー加工を研究。就職時は東日本大震災の直後で、免制震装置に関心を持ちオイレス工業に入社。入社後、現部署に配属され、現在まで建築物向け制震装置の設計を担当している。



#### 鬼平 勇輔

経済学部 経済学科  
2014年入社  
免制震事業部 建築営業部 東京営業所

大学では経済学を学ぶ。産業機械をはじめとして、自動車、免制震装置など、幅広い事業分野で社会貢献ができると思い、オイレス工業に入社。入社後、現部署に配属され、現在まで建築部門の営業を担当している。

## 福利厚生制度く働きやすい環境づくり

全ての従業員が仕事と生活の調和を保ち、日々活力をもって安心して働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスを支援する体制の充実と働きやすい職場づくりを行っています。

当社では、社員の働き方に目標値を定め、職場での理解浸透を図りながら働きやすい環境づくりを推進しています。

## 平均有給休暇取得日数

15.9日



## 月平均所定外労働時間

7.1時間



## 育児休業取得率

男性 68.4% 女性 100%



※2023年度実績

## 様々な補助や資産形成サポート

## 借上社宅、結婚者家賃補助

満33歳までの独身者に借上社宅を提供しています。寮ではなく、個別にアパートやマンションを借り上げるので、プライベートも守られます。

また、結婚した社員については、結婚者家賃補助の制度があります。

生活費の大部分を占める住居費用が軽減されることは、若手社員の大きな助けになっています。



## 財形サポート

社員の資産形成サポートとして財形貯蓄制度を整備しており、企業型確定拠出年金制度(DC)も取り入れています。

また、仕事に対するモチベーションの一つになる従業員持株会に加入することもできます。



## 安心・安全な職場環境づくり

## 松原 ますみ

企画管理本部 人事部 専門課長（保健師）

## 各事業所では、保健師が常駐



当社では2年連続での健康経営優良法人の認定取得を果たし、健康経営の推進に力を注いでいます。その健康経営を支える各事業所の保健師は産業医と連携し、従業員の健康管理全般を行っています。健康診断をはじめ、体調不良者の対応や健康相談、ストレスチェックの実施や長時間労働者の支援、メンタル相談対応なども行います。また、海外赴任者の健康管理や、健康教育、感染症予防など幅広い対応も行い、社内での唯一の医療専門職としてすべては従業員の健康のため、そしてそれが会社の財産であるという信念のもと、私たち保健師にしかできない仕事を妥協なく遂行することを心がけています。社員一人ひとりを想う気持ちを大切に、健康な時はもちろん思いがけない病気や怪我を患った時も、生き生きとその人らしく働き続けることができるよう支援を行っています。

## ワーク・ライフ・バランス

オイレス工業は、社員が意欲的に働き続け、仕事もプライベートも充実させることができるよう、働き方に関わる様々な制度や仕組みを積極的に作り出し、ワーク・ライフ・バランス促進に取り組んでいます。

## ワーク・ライフ・バランス 01

## ワーク・ライフ・バランスの支援

## 休暇取得の推進

休暇をより取りやすくするため、様々な制度を整備しています。

## 誕生月休暇

ご自身の誕生日のある月に、1日特別休暇を取得できます。

## 時間有給休暇

1時間単位で取得できる有給休暇です。短時間だけ休暇扱いとすることができます。

## リフレッシュ休暇

勤続10年で連続3日間、20年目で連続5日間、30年目で連続7日間の特別休暇が付与されます。



## 岩下 悠至

免制震事業部  
技術部 技術課

有給休暇を使用しディズニーシーに行きました。職場では、有給休暇を積極的に取得するように奨励されており、事前に連絡さえしていれば、気兼ねなく休むことができるので、とても助かっています。もちろん、テーマパーク利用補助制度もしっかり活用できました。



## 中村 有沙

一般軸受事業部  
営業部 東京営業所

テーマパーク利用補助(2,000円引き)を利用して、ディズニーランドへ行ってきました。有給休暇取得と組み合わせて使用したので、すいている平日に入園でき非常に充実した時間を過ごせました。

## ワーク・ライフ・バランス 02

## 育児休業制度

## 育児休業

男性の育児休業を推奨しており、2023年度は約7割の男性社員が育児休業を取得しています。

## 短時間勤務

育児休業が明け、職場へ復帰した後は、子供が小学3年生になる期間、短時間勤務が可能です。

## 多様な支援制度

プライベートを充実してもらうため、会社としてバックアップしています。

## 保養施設

静岡県伊東市の自社保養施設や、星野リゾート トマム ザ・タワー、エクシブ、ラフォーレ倶楽部等も利用できます。

## レクリエーション補助

社員旅行、ボーリング大会、バーベキューなど、職場ごとに活動する補助として、一人当たり1万円の補助があります。

## 同好会

テニス、野球、フットサル、バスケットボールなど、10団体が同好会として活動しています。



## 三好 舞実

一般軸受事業部  
技術部 技術一課

夏季休暇に誕生月休暇と半日有給休暇を追加して、一足早く北海道の実家に帰省しました。お盆や年末年始は飛行機の値段が高いのですが、数日ずらすと出費を抑えながら混雑を避けて帰省できるので、とても助かっています。



## 五十嵐 健太郎

自動車軸受事業部  
技術部 技術一課

保養施設の補助利用制度で、長野の蓼科にあるホテルに家族と宿泊することができました。上京してから久しく会えていなかった家族と、綺麗な自然、建物の中で貴重な時間を過ごすことができ、よい親孝行ができました。

## 配偶者の出産休暇

配偶者が出産する場合5日の休暇を取得することができます。

## 看護休暇

小学6年生までの子供が病気やケガをした際など、看護が必要なときに取得できる休暇です。

オイレス工業では「みんな専門家に」という社是のもと、社員の成長や技術の継承を重要に考えています。  
一人ひとりの資質・個性を活かした能力開発・教育機会の提供を積極的に行い、その力を最大限に発揮できる環境を整えています。

| 教育制度の概要 |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 階層教育    | 新入社員研修、中堅社員研修、監督者研修、管理職研修、選抜教育など |
| 職種教育    | 技能教育、技能士養成（特級・一級・二級）など           |
| 国際人育成   | 海外赴任前研修、英会話研修など                  |
| 自己啓発支援  | 資格取得奨励制度、通信教育、外部セミナー活用など         |

## ➤ 新入社員研修

入社後、約1ヶ月は社会人基礎能力の形成を行い、組織や規定など会社についても学びます。主体性、社会人としてのコミュニケーション能力を養うことを目的としています。5月上旬には仮配属され、OJTにて基礎的な業務を学びます。9月より約1ヶ月は、自身の仮配属先に関係する製品を取り扱う生産拠点にて、「現場実習」を実施します。製品の理解やものづくりの流れの理解、人脈形成にもつながります。このように、キャリア形成を意識しながらいち早く戦力になれるよう、2025年の新入社員研修から実務教育を更に充実させています。約4ヶ月間の仮配属期間を経て、10月に本配属となります。





### オイレス工業でのキャリア形成

望月 早織  
企画管理本部 人事部 企画課 課長

## 一人ひとりに 向き合う 教育プログラム 設計

オイレスグループ人事基本方針の実現を促すため、階層教育研修以外にも様々な人財育成施策を行っています。  
若手社員が早い段階から経営について学ぶ選抜研修「ブレマネジメント研修」や、他社社員とプロジェクトを組み企業の課題解決を推進する「他社留学研修」を導入しました。また、女性社員のキャリア形成をサポートする「パーソナルデザイン研修」は2019年から毎年継続し、女性社員や男性管理職の意識改革に繋がっています。「キャリアオーナーシップ研修」では、40代社員がオイレス人生後半戦のキャリアやライフプランについて見つめ直す機会としています。各世代、属性に応じた「多様性」「挑戦心」「自律性」を養うための教育プログラムを企画しています。

## ダイバーシティの推進 Diversity

多様な個性が力を合わせ、新たな挑戦をすることが、オイレス工業の新しい価値を創り出します。  
年齢、性別、性自認や国籍、障がいの有無等に関わらず、すべての社員を尊重し、ダイバーシティの浸透を図っていきます。

## オイレスグループ 人事基本方針

オイレスグループは「従業員は会社の大切な財産である」と考え、すべての従業員の人権を尊重するとともに、オイレス工業の社是のもと、従業員の多様な能力や個性を十分に発揮できるよう成長を支援します。また、日々変化する社会情勢から従業員の安全と健康を守り、柔軟かつ効率的な働き方を実現できるよう、職場環境を整備します。

### ダイバーシティの推進 01

## 女性活躍推進

女性社員が“女性ならではの”目線で自らの職場改善について協議し、より良い環境を目指す「女性ユニット活動」。仕事の価値観やリーダーシップについて学びながら、女性社員自らが自分に合った働き方を創り出していくパーソナルデザイン研修など、女性社員が主体的にキャリアを形成することを支援しています。  
また、女性が仕事をしやすい環境や制度が整っており、年々女性社員比率が高まっています。  
2024年現在、オイレス工業では約250名の女性社員が活躍しています。



### ダイバーシティの推進 02

## 外国籍社員の活躍支援

入社前後の研修、配属先となる職場との連携、入社後の個別フォローを実施しています。  
外国籍社員の管理職登用という目標を掲げており、外国籍社員の新規採用と、有資格者の育成に取り組んでいます。  
2024年現在、8名の外国籍社員が活躍中。また、2023年度、2024年度と1名ずつ管理職有資格者が誕生しています。



### ダイバーシティの推進 03

## 障がい者雇用の推進

障がいのある方がやりがいを持って働けるような職場環境の整備や福祉施設からの実習を積極的に受け入れています。  
2023年4月には、障がい者の働き方支援の一環として「障がい者定期通院特別休暇制度」を導入しました。平日に通院しなくてはならない場合に障がい内容や通院頻度によって月1日以上の有給休暇を取得することができる制度です。





〒252-0811 神奈川県 藤沢市 桐原町8番地 TEL:(0466) 44-4828

URL:<https://www.oiles.co.jp/recruit/>

MAIL:[recruit@oiles.co.jp](mailto:recruit@oiles.co.jp) (採用に関するお問い合わせはこちらをお願いします。)

